

ミニ・チェアー製作説明書

この作品の製作には、基礎的な木工の技術―鋸引き・釘打ち・ねじ締め―が効率良く含まれています。しかも作業順序が分かりやすく、完成に向けての形態と作業イメージが、作業順序に従って、容易に予測・想像できるというものです。30～60分前後で作業が完了します。

プログラムは、A、Bの2つがあります。

A 30mm×20mm の角棒と、5mm のベニヤを用い、脚と背もたれ板、座板をつける。

このとき、最小限の**鋸引き**、**釘打ち**、**ネジ締め**ができるように、キッドを製作する。

注) 角棒を30mm×30mm とすると、作品の大きさ：外枠寸法は約 100×140×210

胴棧を一本加えると座がほぼ正方形になる。 胴棧に 30×60 を使用してもよい。

B A を**ネジ締め**だけで、組みあがるように、キッドを製作する。

・A の場合は、木工にとって基本的作業のほとんどが含まれている。

・B の場合は、簡単な道具（ドライバー1本）だけで作業できるので、作業条件が十分整わない場所でも行えるという手軽さがあり、一部分解して持ち運びの便宜に対応することもできる。

・双方ともキッドに、釘・ネジ釘穴をあけておく。受け材の方はあけない。

A、Bとも同材を使用するものとする。

・寸法を整理し、できるだけ同寸もしくは関連のある寸法とした。

・ホワイットウツの 30mm×40mm 角 を二つ割りにして使用する。（在庫多く加工が簡単）

前脚 30mm×20mm×100mm 2本

後脚 30mm×20mm×200mm 2本

座の棧 30mm×20mm×100mm 2本

背もたれ板、座板 ベニヤ厚さ 5mm 90mm×120mm 2枚

[Aの製作プログラム]

① キッド 角棒 30mm×20mm×200mm 4本

ベニヤ厚さ5mm 180mm×120mm 1枚

② **鋸引き** 角棒2本を半分に切り、前脚と座の棧を作る。

ベニヤ 180mm を半分に切り 90mm×120mm 2枚とする。

③ **ネジ締め** 後脚に座の棧を直角に取り付ける。高さは前脚の寸法を、鉛筆で線を引いておく。

前脚に座の棧を直角に取り付ける。

座の棧を合わせ、前脚の間より、座の棧をネジで締める。

注) B の製作プログラムの説明を参照のこと。

④ **釘打ち** 背もたれ、座板を釘で打つ。

[Bの製作プログラム]

① キッド 前脚 30mm×20mm×100mm 2本

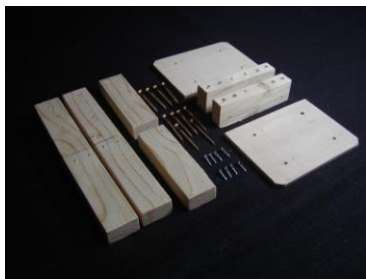
後脚 30mm×20mm×200mm 2本

座の棧 30mm×20mm×100mm 2本

背もたれ板、座板 ベニヤ厚さ 5mm 90mm×120mm 2枚

② ネジ締め

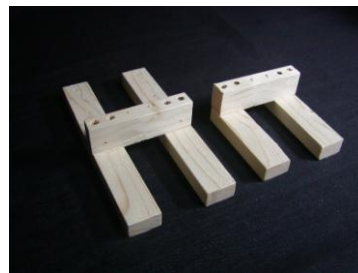
後脚に座の棧を直角に取り付ける。高さは前脚の寸法を、鉛筆で線を引いておく。
前脚に座の棧を直角に取り付ける。



キッドの部品



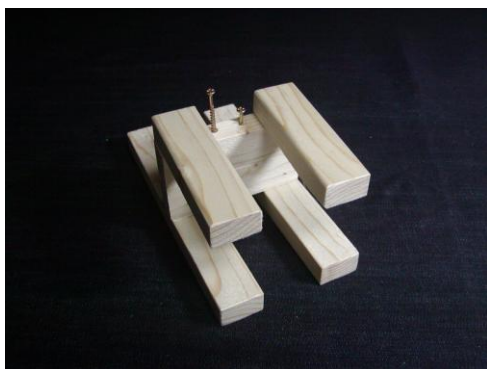
後脚に前脚の高さを記す



後脚に座の棧、前脚に座の棧

③ ネジ締め

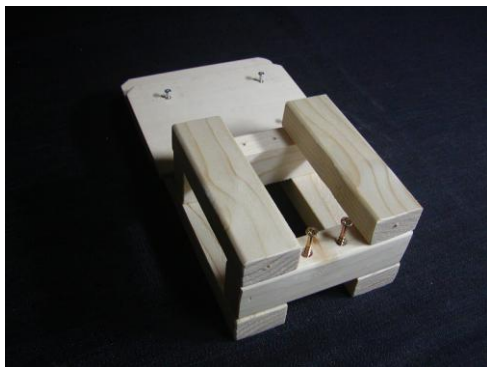
座の棧を合わせ、前脚の間より、座の棧をネジで締める。
背もたれ板、座板をネジで留める。



座の棧を合わせてビス留め



背もたれ板、座板を取り付ける前と
座板を取り付けた完成品。



座板、前脚のネジを外して、逆さまに合わせると、
体積が半分になり、持ち運びが便利になる。

④ これを基本として、種々のバリエーションのチェアが考案・製作できる。

参考例：背もたれに横棧（10×10 程度）を数本入れる。

参考例：背もたれに上下に横棧、それに縦棧2本を付ける。

参考例：肘掛けを付ける。